

1. 科目名 (単位数)	保育原理 (2 単位)	3. 科目番号	SJMP2107								
2. 授業担当教員	浅野 菜津子										
4. 授業形態	講義、演習	5. 開講学期	春期								
6. 履修条件・他科目との関係											
7. 講義概要	乳幼児期における保育・教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培うきわめて重要なものである。そのことを踏まえて本科目では、なぜ重要な意味をもつのかについて、様々な観点から理解できるようにする。保育の意義とその思想、保育の歴史の変遷、子どもの発達特性、保育理論と実践との関連などについて概説し、「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を基本的資料として、保育の原理、目的、目標、内容、方法、計画、評価について理解する。さらに、現代的保育ニーズや子育て支援に関する基本を習得する。										
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育の目的、目標、内容、方法を理解し、説明することができる。 2. 保育の歴史の変遷、その思想についての知識を身に付ける。 3. 保育実践の土台となる子ども観、保育観、発達観について理解し、説明することができる。 4. 子ども理解の重要性、個の特性に応じた望ましい援助について習得する。 5. 環境を通して行う保育について理解し、具体的な実践方法を習得する。 6. 保育の現状を知り、現代社会における保育ニーズや子育て支援について理解し、説明することができる。 										
9. アサシメント (宿題) 及びレポート課題	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への積極的参加は、グループ活動や演習の参加等で評価する。 ・期末レポートは教科書を中心に、授業内で学んだことを含めた実践的な内容とする。詳細は授業内に提示する。 ・毎回の授業内容を振り返り、考えたこと、疑問、課題などをまとめ、課題小レポートとして評価する。 ・事前学習・事後学習を日常の学習状況として評価する。 										
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 渡邊英則他編集『保育原理 (新しい保育講座)』ミネルヴァ書房 (2018) 文部科学省『幼稚園教育要領解説』(フレーベル館) 厚生労働省『保育所保育指針解説』(フレーベル館)</p> <p>【参考書】 内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園 教育・保育要領解説』(フレーベル館)</p>										
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育の目的、目標、内容、方法を理解し、説明することができるか。 2. 保育の歴史の変遷、その思想についての知識を身に付け、説明できるか。 <p>○評定の方法</p> <p>授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1 授業への積極的参加</td> <td>総合点の 20%</td> </tr> <tr> <td>2 期末試験 (または期末レポート)</td> <td>総合点の 50%</td> </tr> <tr> <td>3 課題レポート</td> <td>総合点の 10%</td> </tr> <tr> <td>4 日常の学習状況</td> <td>総合点の 20%</td> </tr> </table>			1 授業への積極的参加	総合点の 20%	2 期末試験 (または期末レポート)	総合点の 50%	3 課題レポート	総合点の 10%	4 日常の学習状況	総合点の 20%
1 授業への積極的参加	総合点の 20%										
2 期末試験 (または期末レポート)	総合点の 50%										
3 課題レポート	総合点の 10%										
4 日常の学習状況	総合点の 20%										
12. 受講生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・事前、事後学習につとめ、積極的で意欲的な授業への参加を期待する ・大学生として節度ある態度で授業に臨み、疑問が生じたら積極的に質問すること ・グループワークや演習、実技では積極的に発言し、協力して参加すること 										
13. オフィスアワー	授業時に提示										
14. 授業展開及び授業内容											
講義日程	授業内容	学習課題									
第 1 回	保育とは何か	事前学習	「保育所」と「幼稚園」の社会的役割の違いについて調べておく。(教科書第 1 章)								
		事後学習	授業内容を復習し、「養護と教育の一体化」の意味を理解する。								
第 2 回	子ども観、保育観	事前学習	子ども観、保育観の意味を調べておく。								
		事後学習	自分の子ども観や保育観について考えをまとめる。(教科書第 2 章)								
第 3 回	子ども理解から出発する保育①	事前学習	子ども理解の重要性について調べておく (教科書第 3 章)								
		事後学習	授業内容を復習し、子ども理解と保育者の援助の関連について理解する。								
第 4 回	子ども理解から出発する保育②	事前学習	個の特性に応じた保育者の援助について調べておく (教科書第 3 章)								
		事後学習	子ども一人ひとりに応じた保育について理解する。								
第 5 回	保育の目的・目標、ねらい	事前学習	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」のそれぞれの第 1 章を読み、理解する。								
		事後学習	保育の目的・目標・ねらいの関係を復習する								
第 6 回	保育の内容、方法	事前学習	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」の保育の内容・方法についての記述を読み、理解する。(教科書第 5 章)								
		事後学習	保育の内容と方法の密接な関係を復習する。								

第7回	5領域の意味	事前学習	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」の5領域の箇所を読み、「ねらい」と「内容」の関連について考える。
		事後学習	5領域をふまえたうえで、総合的な指導・援助の意味を理解する。
第8回	「育みたい資質・能力」と「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」	事前学習	「育みたい資質・能力」と「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」について調べる
		事後学習	「育みたい資質・能力」と「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の関係について理解する
第9回	諸外国の保育の歴史の変遷	事前学習	ヨーロッパの保育の歴史について調べておく。(教科書第9章)
		事後学習	コメニウスからフレーベルの思想について、要点をまとめる。
第10回	日本の保育の歴史の変遷	事前学習	日本の保育の歴史について調べておく。
		事後学習	倉橋総三の思想について、要点をまとめる。
第11回	保育の環境①	事前学習	保育の環境の諸側面について調べておく。
		事後学習	「保育は環境を通して行うものである」について理解する。(教科書第4章)
第12回	保育の環境②	事前学習	発達と環境のかかわりについて調べる
		事後学習	ねらいや内容を達成するための、環境を通じた保育について理解する
第13回	現代の子どもをとりまく状況と保育の現状	事前学習	現代の子どもをとりまく状況について考え、気づいた点をまとめる。(教科書第12章)
		事後学習	現代の子どもをとりまく状況について整理し、保育者としての課題について自分の考えをまとめる。
第14回	現代の保育ニーズと子育て支援	事前学習	政府が発表している子育て支援策について調べておく。(教科書第11章)
		事後学習	子育て支援策の移り変わりのポイントについて整理する。
第15回	全体の振り返りとまとめ	事前学習	本授業における要点や課題を整理しておく。
		事後学習	本授業を通して学んだことを振り返り、各課題に関するポイントを整理してノートを作成する。